

Novell SecureLogin Readme 7.0 SP1

2010 年 4 月 20 日

Novell®

1 マニュアル

次の各ソースには、Novell SecureLogin に関する情報が記述されています。

- ◆ はじめに
 - ◆ 『“Novell SecureLogin Quick Start Guide (Novell SecureLogin クイックスタートガイド)”』
 - ◆ 『Novell SecureLogin Overview Guide (Novell SecureLogin 概要ガイド)』
- ◆ インストール
 - ◆ 『Novell SecureLogin Installation Guide (Novell SecureLogin インストールガイド)』
- ◆ 管理
 - ◆ 『Novell SecureLogin Administration Guide (Novell SecureLogin 管理ガイド)』
 - ◆ 『Novell SecureLogin Application Definition Wizard Administration Guide (Novell SecureLogin アプリケーション定義ウィザード管理ガイド)』
 - ◆ 『Novell SecureLogin Citrix and Terminal Services Guide (Novell SecureLogin Citrix および Terminal Services ガイド)』
 - ◆ 『pcProx Guide (pcProx ガイド)』
- ◆ エンドユーザ
 - ◆ 『Novell SecureLogin User Guide (Novell SecureLogin ユーザガイド)』
- ◆ リファレンス
 - ◆ 『Novell SecureLogin Application Definition Guide (Novell SecureLogin アプリケーション定義ガイド)』

2 はじめに

Novell SecureLogin はシングルサインオンアプリケーションです。ネットワークやアプリケーションに対する認証機能およびシングルサインオン機能を提供する、複数の統合セキュリティシステムで構成されています。企業ネットワークとそのユーザリソースにシングルエントリポイントを提供することにより、セキュリティを強化すると同時に企業のセキュリティポリシーの遵守を向上させることができます。必要なユーザ名とパスワードは自動的に入力されるので、ユーザは複数のユーザ名とパスワードを覚える必要がなくなります。

このドキュメントでは、このバージョンの Novell SecureLogin で導入された新機能について紹介します。また、Novell SecureLogin の管理、動作、およびその他の機能に関する問題について説明します。

Novell SecureLogin の詳細については、Novell SecureLogin 製品の Web サイト (<http://www.novell.com/products/securelogin/>) を参照してください。

3 前提条件

3.1 LDAP v3 および Novell eDirectory モードでの NICI の使用

Novell SecureLogin は、LDAP v3 (eDirectory 以外) および Novell eDirectory モードで動作します。ただし、正しくインストールするには、プラットフォームに SecureLogin をインストールする前に、Novell International Cryptographic Infrastructure (NICI) をインストールしてください。NICI を先にインストールしないと、NICI がインストールされていないことを示すエラーメッセージが表示され、インストール処理が停止します。

32 ビット版および 64 ビット版 NICI を、手動でインストールする必要があります。

- eDirectory、LDAP(eDirectory 以外)、および LDAP v3 のいずれかのモードの Microsoft* Windows* Vista* 64 ビット版
- Microsoft Windows Server* 2008(64 ビット版)

3.2 Novell SecureLogin での Client ログイン機能拡張の使用

Novell Client ログイン機能拡張は、Novell Client のログインパスワードを忘れたユーザが、パスワードを回復する際に役立ちます。Novell Client のパスワードを正しく回復するには、Client ログイン機能拡張ツールをインストールする前に、Novell Client をインストールしてください。

3.3 Microsoft* Windows* Vista* での SLLogging Manager の使用

SLLogging Manager ユーティリティを使用すると、サポート用の詳細なログ記録機能が有効になります。

Microsoft Windows Vista の制限により、SLLogging Manager を Vista で実行する場合は拡張が必要です。

SLLogging Manager アプリケーションを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。SLLogging Manager で変更を行うと、関連するログファイルを作成できるように、正しくレジストリが変更されます。

3.4 Microsoft Windows Vista へのインストール

SecureLogin を Windows Vista マシンにインストールする前に、最新のセキュリティパッチとサービスパッチ、または MS Redistributable (32 ビットまたは 64 ビット) を使用してオペレーティングシステムを更新済みであることを確認してください。更新されていない場合、SecureLogin のインストールは失敗し、"NSL Event Service の開始に失敗しました" というエラーメッセージが表示されます。

4 新機能

- [3 ページのセクション 4.1 「拡張されたウィザードのサポート」](#)
- [3 ページのセクション 4.2 「スクリプト作成の拡張」](#)
- [3 ページのセクション 4.3 「Microsoft Windows プラットフォームのサポート」](#)

- ◆ 3 ページのセクション 4.4 「.NET Framework のサポート」
- ◆ 3 ページのセクション 4.5 「Novell SecureLogin Event Service」
- ◆ 4 ページのセクション 4.6 「Oracle Forms のサポート」
- ◆ 4 ページのセクション 4.7 「Client ログイン機能拡張のサポート」

4.1 拡張されたウィザードのサポート

Novell SecureLogin 7.0 では、拡張された管理ウィザードが導入されています。ウィザードエンジンの向上を図り、統合された直感的なプロセスを実現するための拡張が加えられました。主な向上点は、さまざまな種類のアプリケーションを単一のウィザードで管理できるようになったことです。

このウィザードを使用すると、Web、Windows*、および Java* のアプリケーションのアプリケーション定義を作成できます。新しいウィザードでは、複雑なアプリケーション定義を簡単に設定できるようになりました。

4.2 スクリプト作成の拡張

このバージョンの Novell SecureLogin では、スクリプトの作成に関する多くの拡張が加えられており、複雑なシナリオに対応するための、最も柔軟で実現可能なソリューションが継続して提供されます。

4.3 Microsoft Windows プラットフォームのサポート

このリリースでは、次のバージョンをサポートしています。

- ◆ Microsoft* Windows* Vista* SP1 (32 ビット版および 64 ビット版)
- ◆ Microsoft Windows Server* 2003 SP2(32 ビット版および 64 ビット版)
- ◆ Microsoft Windows Server 2008 SP2(32 ビット版および 64 ビット版)
- ◆ Microsoft Windows 7 (32 ビット版および 64 ビット版)

4.4 .NET Framework のサポート

このバージョンの Novell SecureLogin は、.NET Framework 3.5 SP1 以降をサポートしています。Novell SecureLogin で使用できるのは、既に利用可能な .NET Framework のみです。Novell SecureLogin では、アンインストールされ、使用できなくなった .NET Framework について通知しません。

4.5 Novell SecureLogin Event Service

Novell SecureLogin Event Service は、Windows イベントログに定期的にポーリングし、SecureLogin イベントを取得し、それらを監査サーバに送信できるクライアントベースのツールです。Sentinel Log Manager および Sentinel では、このツールを実行している各システムから送られた SecureLogin イベントログをすべて表示したり、特定のログを表示することができます。Novell SecureLogin 7.0 SP1 のインストール時に、このサービスを実行するように指定できます。また、MSI のコマンドラインのスイッチを使用して後から指定することもできます。

4.6 Oracle Forms のサポート

Novell SecureLogin 7.0 SP1 は、Web 対応 Oracle フォームアプリケーションをサポートしています。

4.7 Client ログイン機能拡張のサポート

Novell® Identity Manager の Client ログイン機能拡張は、Novell SecureLogin 7.0 SP1 を使用してアクセスされるアプリケーションに対してパスワード回復サポートを提供します。パスワード回復サポートは、GINA や、LDAP クライアント、Novell Client、および Microsoft クライアント用の資格情報プロバイダなど、グラフィカル認証インタフェースに対して使用できます。Windows 7 および Windows Vista オペレーティングシステムのクライアントでは、グラフィカル認証インタフェースの資格情報プロバイダモデルがサポートされます。他のオペレーティングシステムのクライアントでは、GINA モデルのグラフィカル認証インタフェースがサポートされます。

Client ログイン機能拡張ツールによるパスワード回復サポートは、ロックされたワークステーションに対して、さらにユーザ操作が Desktop Automation Services (DAS) によって制御されるワークステーションに対しても使用できます。

注：Active Directory 環境では、Windows 7 および Windows Vista を除くすべてのプラットフォームで、資格情報プロバイダに対するパスワード回復がサポートされます。

5 確認されている問題

- ◆ 4 ページのセクション 5.1 「一般的な問題」
- ◆ 7 ページのセクション 5.2 「アプリケーション定義ウィザードに関する問題」
- ◆ 7 ページのセクション 5.3 「DAS 関連の問題」
- ◆ 7 ページのセクション 5.4 「LDAP 関連の問題」
- ◆ 8 ページのセクション 5.5 「pcProx 関連の問題」
- ◆ 8 ページのセクション 5.6 「スクリプト作成に関する問題」
- ◆ 9 ページのセクション 5.7 「SecretStore 関連の問題」
- ◆ 9 ページのセクション 5.8 「Secure Workstation に関する問題」
- ◆ 10 ページのセクション 5.9 「スマートカードに関する問題」
- ◆ 10 ページのセクション 5.10 「TLaunch 関連の問題」
- ◆ 11 ページのセクション 5.11 「アップグレードに関する問題」
- ◆ 12 ページのセクション 5.12 「Web 関連の問題」

5.1 一般的な問題

- ◆ 5 ページの 「Novell Client Credential Provider モードでの Novell SecureLogin Citrix パススルー」
- ◆ 5 ページの 「オフラインメッセージが何回も表示される」
- ◆ 5 ページの 「[ログインの管理] ウィンドウからログインを削除できない」
- ◆ 5 ページの 「ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません：80070005」

- ◆ 6 ページの「一意の名前の使用」
- ◆ 6 ページの「Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある」
- ◆ 6 ページの「ViewNow 端末エミュレータ」
- ◆ 6 ページの「eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin ログイン」
- ◆ 6 ページの「古いパスワードの検証」
- ◆ 6 ページの「Oracle Forms のサポート」
- ◆ 7 ページの「パスワードポリシーが使用できないというエラーメッセージ」

5.1.1 Novell Client Credential Provider モードでの Novell SecureLogin Citrix パススルー

Novell Client™ Credential Provider モードでの、Microsoft Windows 2008 への Novell SecureLogin Citrix* パススルーはサポートされません。

5.1.2 オフラインメッセージが何回も表示される

Novell SecureLogin が Citrix サーバに Novell Client モードでインストールされている場合、Windows を Citrix サーバで再起動するときに [ワークステーションのみ] オプションを選択すると、「ディレクトリにログインしていません。また、SecureLogin がキャッシュ済みユーザデータを見つけることができませんでした。」というメッセージが表示されます。このメッセージは、認証されるまでに 2 回表示されます。

5.1.3 [ログインの管理] ウィンドウからログインを削除できない

場合によっては、Novell SecureLogin Client ユーティリティで、左のペインの [マイログイン] ナビゲーション領域からログインを削除できないことがあります。ユーザがログインを右クリックすると、[削除] と [名前変更] の両方のオプションが無効になります。>

ただし、右のペインからログインを削除できます。

5.1.4 ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005

Web ページが別の方法を使用して情報を SecureLogin に送信できなかった場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

"ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005"

この問題を解決するには、SecureLogin をアンインストールし、そのインストールディレクトリを削除します。さらに、レジストリハイク `hkml/software/protocom` も削除し、SecureLogin を再インストールします。

この方法により、エラーの発生元となった Web ページを含むすべての Web ページについて、このエラーを解決できます。

それでも問題が解決しない場合は、以下に示す一部の SecureLogin dll ファイルを再登録してください。

```
regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\iesso.dll
```

```
regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slbroker.dll
```

regsvr32 "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slcaptain.dll

5.1.5 一意の名前の使用

ユーザ ID、アプリケーション、パスワードポリシーの名前は、すべて一意にする必要があります。また、「Error」という名前のアプリケーションは作成できません。

SecretStore クライアントと SecureLogin を、eDirectory モードでインストールし、たとえば、「App1」という名前で、パスワードポリシーが既に存在している場合、「App1」という名前を付けたアプリケーションを追加することはできません。

5.1.6 Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある

Citrix ログインプロンプトでスマートカード認証を使用する場合、Citrix サーバ認証では PIN がキャッシュされないため、スマートカードの PIN を手動で入力してください。

5.1.7 ViewNow 端末エミュレータ

ViewNow 端末エミュレータの使用に関する詳細については、Novell サポートまでお問い合わせください。

5.1.8 eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin ログイン

eDirectory ユーザの完全識別名 (FDN) が 128 文字以上の場合、新しいユーザに対してパスワードを設定している間に、eDirectory を使用する LDAP GINA モードの Novell SecureLogin が機能しません。

5.1.9 古いパスワードの検証

Microsoft Windows 2003 の設定では、ユーザは古いパスワードを使ってワークステーションにログインできる場合があります。ユーザが正常にログインしているため、Novell SecureLogin はロードされます。Windows 2003 サーバの属性 (パスワードの有効期間) によっては、古いパスワードの再利用が許可されます。

パスワードを変更したら即座に古いパスワードが無効になるようにするには、ドメインコントローラのレジストリ設定を、次の値で更新します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa

新しい DWORD 値 OldPasswordAllowedPeriod を作成します。

この値を 0 に設定します。

詳細については、Microsoft の Web サイト (<http://support.microsoft.com/kb/906305>) を参照してください。

5.1.10 Oracle Forms のサポート

Novell SecureLogin 7.1 SP1 は、Web 対応 Oracle フォームアプリケーションをサポートします。したがって、Novell SecureLogin 7.1 SP1 を使用するシステムでは、Oracle* JInitiator および JRE を利用する必要があります。Novell SecureLogin が既に実行されているマシンにこれらが 1 つも存在しない場合は、足りない Java コンポーネントをマシンに追加し、

SecureLogin インストーラの修復オプションを実行します。インストーラの修復オプションを使用すると、Oracle フォームアプリケーションで使用するための新しい Java コンポーネントが追加されます。

5.1.11 パスワードポリシーが使用できないというエラーメッセージ

パスワードポリシーが既に存在している場合は、ユーザデータの復元時に表示される「パスワードポリシーが存在しない」という誤ったメッセージを無視してください。

5.2 アプリケーション定義ウィザードに関する問題

- ◆ 7 ページの「資格情報のフィールドが淡色表示される」

5.2.1 資格情報のフィールドが淡色表示される

[キー操作を使用してフィールドにナビゲート] オプションが選択されている場合、[アプリケーションの追加] > [ID フィールド] の [ユーザ名] フィールドと [パスワード] フィールドが淡色表示されます。キー操作オプションの選択を解除しても、これらのフィールドが自動的に有効になるわけではありません。

これは、[キー操作を使用してフィールドにナビゲート] オプションを選択すると、指定されたコントロールへのリンクが無効になることによるものです。このオプションの選択を解除すると、ウィザードで再度フィールドを自動的に検出することはできなくなります。目的のテキストフィールドに [選択] アイコンをドラッグして、手動でフィールドを選択する必要があります。

5.3 DAS 関連の問題

- ◆ 7 ページの「iManager を使用した DAS スキーマの拡張の失敗」

5.3.1 iManager を使用した DAS スキーマの拡張の失敗

DAS スキーマ拡張で、iManager による拡張が適切に実行されません。これは、eDirectory の Import Conversion Export ユーティリティの不具合によるものです。

この問題は、次のいずれかの回避策によって解決してください。

- ◆ **ConsoleOne を使用する方法** : [ツール] > [スキーマ] > [属性の追加] > [クラスの追加] にブラウズします。属性情報を指定します。
- ◆ **ndssch コマンドラインユーティリティの使用** : スキーマを拡張するには、ndssch ユーティリティを使用します。このユーティリティは、eDirectory にバンドルされています。-h オプションを使用して、スキーマを拡張する NetWare ワークステーションの IP アドレスを指定します。

注 : このユーティリティは、eDirectory がインストールされていれば、どのワークステーションからでも実行できます。

5.4 LDAP 関連の問題

- ◆ 8 ページの「LDAP 資格情報プロバイダウィンドウの [パスワード] フィールド」

- ◆ 8 ページの「コントロールパネルメニューの表示が遅い」
- ◆ 8 ページの「?syspassword にユニバーサルパスワードが反映される」

5.4.1 LDAP 資格情報プロバイダウィンドウの [パスワード] フィールド

Microsoft Windows Vista で LDAP 資格情報プロバイダを使用して NMAS 認証を行うと、資格情報プロバイダの [パスワード] フィールドが冗長になり、使用されません。

NMAS 認証を続行するには、LDAP ユーザ名と LDAP サーバ情報を指定して、パスワードを指定せずに [送信] をクリックします。

5.4.2 コントロールパネルメニューの表示が遅い

LDAP 認証用の GINA をクライアント上で実行しているときにコントロールパネルをスタートメニューから起動すると、コントロールパネルが表示されるまでに 20 秒以上かかります。

5.4.3 ?syspassword にユニバーサルパスワードが反映される

SecureLogin が LDAP モードでインストールされ、NMAS 認証が使用されている場合、?syspassword にはログインしたユーザのユニバーサルパスワードが反映されます。

この動作モードでは、NMAS ユーザのユニバーサルパスワードを設定する必要があります。

5.5 pcProx 関連の問題

- ◆ 8 ページの「pcProx による識別」
- ◆ 8 ページの「Citrix のセッションにおける pcProx のロック解除操作」

5.5.1 pcProx による識別

64 ビット版 Microsoft Windows 2008 上の Novell Client では、pcProx が新しいユーザの識別を最初に試みたときに、失敗します。システムがネットワークにログインできないことを示すエラーメッセージが表示され、ユーザは資格情報の確認を求められます。

そのため、最初の試行時には、NMAS pcProx シーケンスを使用して Novell Client にログインします。pcProx による識別は、以降のログインで適切に実行されます。

5.5.2 Citrix のセッションにおける pcProx のロック解除操作

NMAS pcProx シーケンスを使用する Citrix セッションのロック解除は機能しません。つまり、リモートの Citrix セッションが Secure Workstation の QLL GUI または Windows のスクリーンセーバーオプションを使用してロックされている場合、NMAS pcProx シーケンスによるロック解除操作は機能しません。

5.6 スクリプト作成に関する問題

- ◆ 9 ページの「Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト」

5.6.1 Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト

Windows Vista 環境では、Novell GroupWise の Web アクセス用プレビルトスクリプトが、Novell SecureLogin クライアントのアプリケーション領域に存在したとしても、検出されません。

ユーザには、スクリプトの使用を要求するプロンプトは表示されません。Novell SecureLogin でのスクリプトの実行は失敗します。

この問題を解決するには、プレビルトスクリプトをアプリケーション定義の一覧に追加します。

5.7 SecretStore 関連の問題

- ◆ 9 ページの「サーバ上の SecretStore」

5.7.1 サーバ上の SecretStore

クライアント (SecretStore モード) 上で Novell SecretStore を使用する場合は、クライアントのインストール中に SecretStore オプションを選択する前に、サーバに SecretStore 3.3.5 以降をインストール (またはアップグレード) してください。

5.8 Secure Workstation に関する問題

- ◆ 9 ページの「Secure Workstation SMP は、ブロックされています。」
- ◆ 9 ページの「Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用」
- ◆ 10 ページの「Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する」

5.8.1 Secure Workstation SMP は、ブロックされています。

管理者特権を持つユーザが、ユーザアクセス制御が有効になっているワークステーションにログインするたびに、SMP がブロックされます。ユーザは、これを手動でブロック解除する必要があります。ブロックが解除されていない場合、ユーザーは NMAS セキュアワークステーションシーケンスを使用してログインできず、「エラー 740: セキュアワークステーションのセッション管理プロセスがブロックされています。続行するには、ブロックを解除してください。」というエラーメッセージが表示されます。

管理者特権を持たないユーザ (標準ユーザ) がシステムにログインする場合、このメッセージは表示されません。

詳細については、Microsoft Developer Network の Web サイト (<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/bb325654.aspx>) を参照してください。

5.8.2 Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用

Microsoft Windows Vista デスクトップ上では、管理者が Secure Workstation のセッション管理プロセス (wsaccsmp) のロックを解除せずに Secure Workstation のシーケンスによる NMAS ログインを使用すると、エラーコード 740 により NMAS ログインが失敗します。

この問題は、Novell Client、または Novell SecureLogin と LDAP クライアントの組み合わせで NMAS が使用されている場合に発生します。

5.8.3 Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する

SUSE Linux Enterprise Server 10 および eDirectory 8.8 SP1 ではポストログインメソッドが失敗するため、iManager を使用して設定すると Secure Workstation のポリシーは失敗します。

ただし、ユーザはクライアントポリシーを通じて Secure Workstation のポリシー設定を使用できます。

5.9 スマートカードに関する問題

- ◆ 10 ページの「スマートカードに関する不適切なエラーメッセージ」
- ◆ 10 ページの「スマートカードにアクセスできない」

5.9.1 スマートカードに関する不適切なエラーメッセージ

[SSO データの暗号化にスマートカードを使用する] が [PKI 資格情報] に設定され、[パズフレーズセキュリティシステムを有効にする] が [いいえ] に設定されている場合に、ユーザがスマートカードを使用せずにログインしても、ユーザーはスマートカードの使用を求められません。

その代わりに、「スマートカードには証明書の選択基準に一致する証明書がありません」という誤ったメッセージが表示されます。

5.9.2 スマートカードにアクセスできない

PKCS#11 ラッパーライブラリファイル `aetpkssse.dll` が見つからない場合、アクセスマネージャがスマートカードにアクセスしようとする時、「スマートカードへのアクセスに失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。このエラーを回避するには、`aetpkssse.dll` ファイルが `C:\WINDOWS\system32\` にあることを確認してください。

5.10 TLaunch 関連の問題

- ◆ 10 ページの「TLaunch ショートカットコマンドラインの /n スイッチ」
- ◆ 11 ページの「TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する」
- ◆ 11 ページの「アップグレード時に Windows エクスプローラを閉じるように要求される」

5.10.1 TLaunch ショートカットコマンドラインの /n スイッチ

TLaunch ショートカットコマンドラインの /n (数値) スイッチには、既知の問題があります。

詳細については、Novell サポートまでお問い合わせください。

5.10.2 TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する

TLaunch を起動して利用可能なエミュレータを検索すると、TLaunch は新しく作成されたエミュレータの検出に失敗します。

また、TLaunch は既存のエミュレータに対して行った変更の保存にも失敗します。

ただし、Microsoft Windows または Windows XP 上でエミュレータの追加および編集を行うことができます。

この問題を回避するには、[スタート]、[プログラム]、[Novell SecureLogin] の順にクリックし、[Terminal Launcher] を右クリックして、[管理者として実行する] を選択します。> > > >

5.10.3 アップグレード時に Windows エクスプローラを閉じるように要求される

Microsoft Windows Vista マシン上に Novell SecureLogin が LDAP モードでインストールされている場合は、バージョン 6.1 または 6.1 SP1 から 7.0 にアップグレードするときに、Windows エクスプローラを閉じるよう求められます。

その場合は、[無視する] をクリックして、アップグレードを続行してください。

5.11 アップグレードに関する問題

- ◆ 11 ページの「Novell SecureLogin のカスタマイズバージョンのアップグレード」
- ◆ 11 ページの「アップグレードの際に SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされる」
- ◆ 12 ページの「通知領域アイコンがパスワードで保護されている場合にパスワードの入力を求められる」

5.11.1 Novell SecureLogin のカスタマイズバージョンのアップグレード

カスタマイズされたバージョンの Novell SecureLogin(ビットマップ、LocalHero.dll、および同様のファイルがカスタマイズされている場合) を 7.0 にアップグレードする場合、新バージョンではカスタマイズされたファイルが標準ファイルに置き換えられます。

カスタマイズされた設定を維持するには、次のいずれかを実行します。

- ◆ カスタマイズされた設定を Novell SecureLogin 7.0 MSI 上で複製します。
- ◆ カスタマイズされたファイルのバックアップを作成して、アップグレード後に適用します。

5.11.2 アップグレードの際に SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされる

SecureLogin 6.0 から SecureLogin 7.0 にアップグレードするとき、SLMANAGER.EXE が自動的にインストールされます。アップグレードプロセスでの SLMANAGER.EXE のインストールを中止する方法はありません。

この問題を解決するには、以下の行が含まれた .bat ファイルを作成して、SLMANAGER.EXE を手動で削除します。

```
@echo off
del "C:\Documents and Settings\All Users\Start Menu\Programs\Novell
SecureLogin\SecureLogin Manager.lnk"
del "C:\Program Files\Novell\SecureLogin\slmanager.exe"
```

5.11.3 通知領域アイコンがパスワードで保護されている場合にパスワードの入力を求められる

Novell SecureLogin 6.1 から 7.0 にアップグレードしているときに、[システムトレイアイコンをパスワードで保護する] が有効に設定されていると、ユーザーはネットワークパスワードの入力を求められます。

この問題を解決するには：

- 1 アップグレードを開始する前に、Novell SecureLogin を手動で停止します。
または
コマンドラインで slproto/forceshutdown を実行し、Novell SecureLogin をシャットダウンします。

注： SecureLogin を手動で停止した場合は、パスワードの入力を求められます。
slprotoc/forceshutdown コマンドを使用した場合は、パスワードの入力は求められません。

- 2 アップグレードを開始します。
- 3 適切な資格情報を入力します。

5.12 Web 関連の問題

- [12 ページの「Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス」](#)
- [12 ページの「インストール時の Firefox 関連の問題」](#)

5.12.1 Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス

Microsoft Windows 2003 サーバの Internet Explorer から直接アクセスする Web アプリケーションは、サーバで Windows セキュリティ強化オプションを無効にするまで機能しない場合があります。別の方法として、[インターネットオプション]、[詳細設定] の順にクリックし、サードパーティ製の Web ブラウザ拡張機能を有効にすることもできます。>

ただし、この方法は Microsoft Windows 2003 サーバに接続したクライアントには影響を与えません。

5.12.2 インストール時の Firefox 関連の問題

Novell SecureLogin をインストールする前に、Mozilla Firefox を 1 回以上起動しておきます。一度も起動していない場合、Novell SecureLogin のインストール中に、Internet Explorer の設定をインポートするよう促すメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、[インポート] をクリックして Internet Explorer の設定をインポートするか、または [キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。> その後で、Novell SecureLogin のインストールを続行できます。

6 マニュアルの表記規則

このドキュメントでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します？

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

7 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2005-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。